

第 1 学年 国語科学習指導案

日 時 平成 16 年 10 月 26 日 (水) 5 校時

児 童 第 1 学年 男 12 名 女 11 名 計 23 名

授業者 教諭 千 田 育 美

1. 単元名 「くらべてよもう」 (1 年 上巻)
教材名 「じどう車くらべ」

2. 単元 (教材) について

第 1 学年及び第 2 学年の国語科の「c 読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気づきながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。さらに内容においては、「(1) 読むこと」の能力を育てるため、次の事項について指導する。ア 易しい読み物に興味を持ち、読むこと。イ 時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。エ 語や文としてのまとまりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読むこと。」とある。

本教材「じどう車くらべ」は、この時期の児童にとって興味・関心がある代表的なもののひとつである自動車を取り上げた説明文である。入学して初め出会った説明文は、「だれだか わかるかな」であった。昆虫の特徴を要旨としたこの文章で、児童は写真も含めて説明されている事柄を正確に読み取ることを学ぶとともに、説明文の基本的なパターンである「問い 答え」を学んだ。本教材では、この学習の発展として、題材に「自動車」を取り上げ、説明のしかたは、「話題・問題提示 問題に対する説明」を、仕事とつくりという二つの事柄の因果関係で述べる形をとっている。

本学級の児童は、普段の読書の様子を見ると、絵本を好んで読んでいる子もいるが、生き物などの図鑑をじっくりと読んだり見たりすることを好む子も多い。「だれだか わかるかな」の学習の後、さらにその傾向が強くなってきた。単元が終わるまで学習意欲が持続し、読み取りの段階では、問いと答えの文にほとんどの児童が分けることができ、それぞれの生き物の秘密にサイドラインを引くことができた。また、自動車について聞いてみたところ、児童の自動車に対する興味・関心は高く、知識もある。しかし、自動車の名前や形は知っていても、何のためにどのようなになっているかといった「しごと」と「つくり」の関係についてはあまり考えていない。

以上のことから、本教材の指導にあたっては、自動車図鑑を作ることを目的に、児童が関心を持って読み取りを進められるようにしたい。前書きを読み取ることで読みの視点である「しごと」と「つくり」を確認し、3 種類の自動車について読み進めていきたい。また、「そのために」という条件や理由を言い表す言葉に着目しながら、「しごと」と「つくり」の関係を読み取らせたい。文章構造の分析や筆者の意図などを説明することをかする形ではなく、既知の事柄や未知の事柄に出会う楽しさを味わいながら、文章の内容と形式になじみを深めるようにしたい。さらに、自動車に絵を描かせたり絵に言葉を書き加えさせたりすることで、読み取ったことをまとめさせ、楽しんで学習を進められるようにしたい。

本教材で読みの視点を明確にして読むという学習は、児童のこれからの発展的な学習 (問題

解決的な学習や調べ学習)を大きく支えていくものと思われる。また、教科書にはない他の自動車を選び、図鑑の1ページを作る活動がある。児童は、人に聞いたり資料を読んだりして情報を集め、この文章で学んだ形式を生かしながら書き写したり書き換えたりして、自分なりの表現をするであろう。これらの活動は、中学年からの総合的な学習を進める際の、解決活動をしていく場面でのものになると思われる。

3. 学習指導目標

| | |
|----------|--|
| 目 標 | 自動車の働きとつくりの関心に興味を持って読み、他の自動車を説明する文章を書く。 |
| 関心・意欲・態度 | 自動車についての本や資料を見て、図書資料に親しもうとしている。 |
| 読む能力 | 三種類の自動車について、働きとつくりの関係などを考えながら内容の大体を読む。 語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読む。 ・乗り物の本などに興味を持ち、読む。 |
| 書く能力 | 教材文のまねをして簡単な組み立てを考えて書く。 自動車図鑑を作るために、選んだ自動車について説明に必要な情報を集める。 語と語や文と文の続き方を考えて敬体の文章を書く。 |

4. 指導計画(9時間扱い 本時5/9)

| | |
|--------|--|
| [つかむ] | 単元のねらいを知り、自動車図鑑を作る計画を立てる。・・・(1) ・知っている自動車の名前を挙げ、どんな自動車があるか話し合う。 ・教師の範読を聞く。自動車図鑑を作ることを知り、図鑑作りのイメージを持つ。 |
| [みとおす] | 全文を読み、話題・問題提示の内容を把握し、読みの視点を持つ。 ・・・(1) ・全文を読み、文章で説明されている自動車を知るとともに、1段落から読みの視点を知る。 ・意味の分からない言葉を確認、片仮名の練習をする。 |
| [ふかめる] | 教材文の3種類の自動車の「しごと」と「つくり」を読み取る。・・・(3) ・バスや乗用車について「しごと」と「つくり」を読み取る。 ・トラックについて「しごと」と「つくり」を読み取る。 ・クレーン車について「しごと」と「つくり」を読み取る。 |
| [まとめる] | さまざまな自動車の本から自分の好きな自動車を選び、自動車図鑑を作る。 ・・・(3) ・自分の選んだ自動車について、「しごと」「つくり」などの説明を書く。 |
| [ひろげる] | 前書き・後書きを書き、表紙を作り、自動車図鑑を完成させる。・・・(1) ・図鑑を完成させ、友達同士で見せ合う。 |

5. 本時の指導

(1) 目標

「そのために」に着目しながら、クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取り、自動車図鑑の1ページを作ることができる。

(2) 具体の評価規準

A: クレーン車の「しごと」と「つくり」に、自分の力でサイドラインを引くことができる。
読み取ったことを、図鑑シートに正しく書くことができる。

B: クレーン車の「しごと」と「つくり」のどちらかにはサイドラインを引くことができる。
読み取ったことを、教師の支援を受けながら図鑑シートに書くことができる。

(3) 展開

| | 学習内容と活動 | 学習上の配慮事項 | 評価観点 |
|-------------|--|--|---|
| つかむ 5分 | 1. 前時の学習を想起する。 2. 学習課題を確認する。 クレーン車のしごととつくりについて、よもう。 | 問題提示の文をもとに、トラックについて「しごと」と「つくり」に視点を当てて読み取ったことを押さえる。 自動車図鑑の2ページ目が完成したことを確かめ、本時の学習への意欲付けとする。 | (関心) 前時の内容を想起できたか。 観察 |
| みとおす 3分 | 3. 課題解決に向けての見通しを持つ。 | 本時の学習するページを確認する。 本時も「しごと」と「つくり」を読み取ることを確認する。 | |
| ふかめる 22分 | 4. 本時の学習場面を読む。 5. クレーン車について読み取る。 6. 読み取ったことを発表しあう。 | 「しごと」と「つくり」を意識しながら読ませる。 句読点で区切って読むことを意識させ、一斉読ませる。 前時までと同様、「しごと」「つくり」にサイドラインを引かせる。 「しごと」と「つくり」に分けて発表させる。 絵と言葉をしっかりと結び付けさせるため、矢印や色塗りなどの書き込 | (読む) 声を合わせて読むことができたか。 観察 (読む) 「しごと」「うで」「あし」の3つにサイドラインがあるか。 教科書 (関心) 進んで発表しよう |

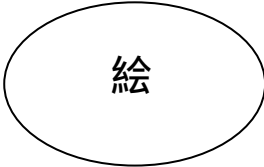
| | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|--|
| | | みをさせたい。 | としているか。 |
| ま と め る 13 分 | 7. 読み取ったことを自動車図鑑の1ページにまとめる。 | 「しごと」と「つくり」を忘れずに文を書くことを確認する。 | (読む) 読み取ったことを正しく書くことができたか。 図鑑シート |
| ひ ろ げ る 2 分 | 8. 本時の学習を振り返る。 | 本時の学習場面を読む。 次時の学習内容を知る。 | |

(4) 評価

クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取り、自動車図鑑の1ページを作ることができたか。

(5) 板書計画

教材文



絵

クレーン車のしごととつくりについて、よもう。

くわんしやうじやう